

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	福井大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	フクイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	海外インターンシップ
	学部・研究科等名	大学院工学研究科
	担当教職員名・役職	永井二郎・学術研究院工学系部門教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	20
	受入企業等数	3
	受入企業等名	紀州噴碼技術(上海)有限公司、コクヨ(上海)企業管理有限公司、上海日特織物有限公司
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ,9.その他
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	本科目「海外インターンシップ」は、大学院教育プログラム「スプリングプログラム」に設けられた5つの科目の1つであり、講義科目「海外企業経営・技術論」と密接な関係を有するインターンシップとなっている。	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	3.その他
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	本科目「海外インターンシップ」は、大学院教育プログラム「スプリングプログラム」に設けられた5つの科目の1つであり、講義科目「海外企業経営・技術論」と密接な関係を有するインターンシップとなっている。
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	スプリングプログラム受講生は2週間、中国・上海理工大学に滞在する。第1週目は「中国語・文化」と「短期留学工学特別講義」を受講し、第2週目に「海外企業経営・技術論」と「海外インターンシップ」を受講する。第2週目科目の実施にあたっては、福井大学留学生同窓会上海支部・福井県上海事務所・上海理工大学日本文化交流センターの全面的な協力の下、講師やインターンシップ先企業を選定し実施している。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	主に4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受講対象学生は、主に、大学院進学が決定している工学部4年生であり、本科目「海外インターンシップ」を含むスプリングプログラムは毎年3月に実施される。レポート等による成績評価により単位が付与されるが、大学院科目であるため、大学院進学後に単位が付与される。受講対象学生は、他にも、大学院工学研究科学生や、募集時に大学院進学が決定している工学部研究生・科目等履修生も含まれる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に、教職員が帯同している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	「海外企業経営・技術論」にて、受入企業の経営状況や事業展開についてあらかじめ情報を得ている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	受入企業ごとにレポートを作成し、振り返り作業を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	受入企業には完全にボランティアとして本科目「海外インターンシップ」に協力して頂いていることを参加学生に周知すると共に、積極的にディスカッションを行うよう促している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業ごとにレポートを作成し、振り返り作業を行っている。
西	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している,3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

要素⑤	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間(うちインターンシップ実施期間3日)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間(うちインターンシップ実施期間3日)
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業は3社あり、各社1日ずつ。その期間前後に「海外企業経営・技術論」にて当該企業の経営状況や事業展開について事前学習を行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	毎年、福井大学留学生同窓会上海支部・福井県上海事務所・上海理工大日本文化交流センターと福井大学が協力して検討し、本科目「海外インターンシップ」受入企業や「海外企業経営・技術論」講義内容を決定している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.u-fukui.ac.jp/internationalnews/33548/
問い合わせ先	大学等名	福井大学
	担当部署名	キャリア支援室
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0776-27-8715
	メールアドレス	g-syusyoku@ad.u-fukui.ac.jp